

1 キータイプを速くするための心がけ

- マウスで動かすな。マウスは不正確で遅い。キーボードより速い入力はない。
- コマンドは使いながらひとつずつ覚えよ。
- 最初はめんどくさくても、慣れれば極楽。
- コントロールキーは左小指で、手をホームポジションから離さない。

ヒント：ふつうのパソコンのキーボードでは、コントロールキー **Ctrl** が左下端にあって、小指で押しづらい。そこでコントロールキーを、左端の真ん中にある **Caps/Lock** キーと入れ替えてしまえば、かなり具合がいい。そういうソフトが実際にあって、重宝している人は多い。関心のある人は次の URL を参照してみるとよい。

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se027730.html>

2 基本操作

2.1 キー入力の仕方

C-x : **Ctrl** キーを押しながら **x** キーを押す

M-x : **Esc** キーを押してから **x** キーを押す

(**Esc** キーは「メタキー」というキーにアサインされているので M なのである)

注意：C-x と M-x では、微妙にキーの押し方が異なる。C-x ではコントロールキーを押している間に x キーを押す必要があるが、M-x ではエスケープキーを押した後で x キーを押してもよい。

2.2 入力の補完

長いファイル名や文字列を少ない手数で入力するために、補完 (completion) ができるようになっている。

ファイル名や長いコマンド名の補完
前に打った文字列の補完

Tab
M-/

操作例：

ファイル名入力： ファイル名を途中まで打って、**Tab** キーを押すと、その先まで自動的に呼び込んでくれる。M-x に続けてコマンドを打つときも同様

文字列入力： pr と打っておいて、M-/ と打つと、printf と補完される (すでに printf が入力されている場合に)。

2.3 開始と終了，パニック

ファイル読み込み	C-x C-f	指定されたファイルがあれば読み込み，なければ作成
ファイル保存	C-x C-s	save
エディタ終了	C-x C-c	exit
コマンド取り消し	C-g	変になったらこれで復旧
元に戻す	C-_	過去の状態に戻していく

ヒント：Emacs 系のエディタは多機能であるために，ちょっとした操作で自分の知らない機能が動き出してしまつてまごつくことがある。そういうときには，C-g を連打してパニックから抜け出すとよい。

2.4 移動

行頭へ	C-a	
行末へ	C-e	end of line
ファイル先頭へ	M-<	
ファイル末尾へ	M->	
行番号指定	M-x goto-line	

補足：1文字の移動は，上下左右にそれぞれ，C-p, C-n, C-f, C-b が使える。使いなれると速いことは間違いないが，矢印キー で済ます人も多い。

2.5 切り取り，貼り付け

行の切り取り	C-k	1回なら改行前まで，2回なら改行記号まで
貼り付け	C-y	

便利！：何行かをまとめてコピーして移動したいときには，C-k を何度か打って目的の行数を切り取ってから，その場で C-y でまず復旧し，その後，目的のところに行ってそこで C-y とすればよい。またこの技は，行を複製するときにも便利である。

2.6 コマンドを任意の回数繰り返す

n 回繰り返す M- n コマンド search

操作例：100行先に進むには次のように入力する。

Esc 100

2.7 検索，置換

検索	C-s	search
一括置換	M-x replace-string	
確認して置換	M-%	

注意：C-s は日本語に対しては使えないようだ。